

株式
会社 **エー・アンド・ティ**
(証券コード：7745 東証1部)



2021年3月期第1四半期 決算説明資料

2020年8月25日



Bluetooth®内蔵
上腕式ホースレス血圧計
UA-1200BLE

はじめに



2020年5月20日の「2020年3月期決算短信」公表時点において未定としておりました2021年3月期業績予想は、2020年8月6日の「2021年3月期第1四半期決算短信」及び同日付「2021年3月期業績予想及び配当予想に関するお知らせ」により開示いたしました。

なお中期経営計画(2021年3月期～2023年3月期/ローリング方式)につきましては、中期的な見通しが現状においても困難であることから引き続き公表は見合させて頂きます。慎重に検討を進め、中期的な見通しがある程度可能になった段階で公表させて頂く予定です。

新型コロナウイルス感染症の影響



新型コロナウイルス感染症拡大による生産面・販売面の現状と取り組み

生産面：中国・ベトナム・韓国・国内、各生産拠点ほぼ平常時レベルに回復

- 各国間の人の移動には依然制限が掛るも、一部調達品を除きサプライチェーンはほぼ正常に機能

販売面：テレ需要を捉えeコマースを中心に家庭向け健康機器は好調に推移

- ロシア及び米州の一部地域等の行動制限・インドにおけるロックダウンと厳しい環境のもと販売活動が苦戦を強いられるなか、米州・欧州ではeコマースルートで家庭向け血圧計が対前年度大幅増

健康と安全を最優先に予防策を実施しつつ企業活動に努めています

- 引続きテレワーク・時差通勤、web会議等の対策を継続
- Hong Kong Hospital Authority（香港病院管理局）が通信機能付き血圧計を採用

※香港で、ホテルでの軽症者受入れに際して、Hong Kong Hospital Authority（香港病院管理局）が体温・血圧・SpO2（血中酸素飽和度）のモニタリングに用いる健康管理システムに、通信機能付き血圧計 UA-651BLE を採用

- 1. 2021年3月期第1四半期業績の総括**
- 2. 2021年3月期業績予想**
- 3. 2021年3月期重点課題**

1. 2021年3月期第1四半期業績の総括

2021年3月期第1四半期業績ハイライト



**コロナ禍における世界的需要減のなか、対前年同期減収増益
売上高：前年同期比△8.3% 営業利益：前年同期比173.4%**

■要因

- **計測・計量機器事業は需要減の影響から半導体関連以外は売上減少**
- **医療・健康機器事業は家庭向け血圧計がeコマースルートで好調推移**
- **コスト改善施策により売上原価の減少率は売上高の減少率を上回る**
- **コロナ対応もあり販管費の減少率も売上高の減少率を上回る**

2021年3月期第1四半期業績の概況



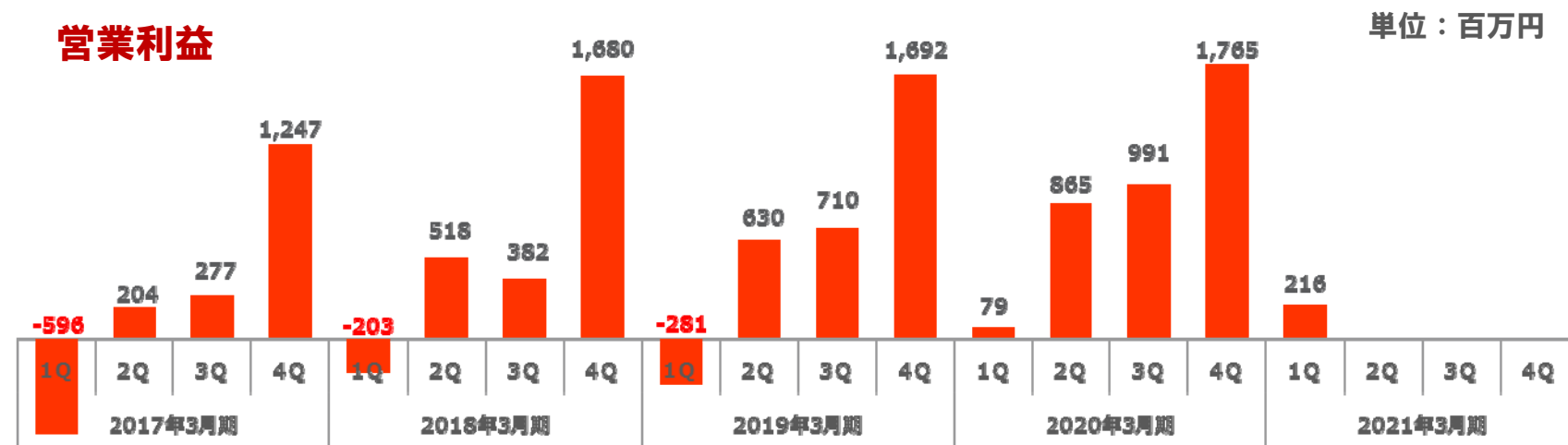
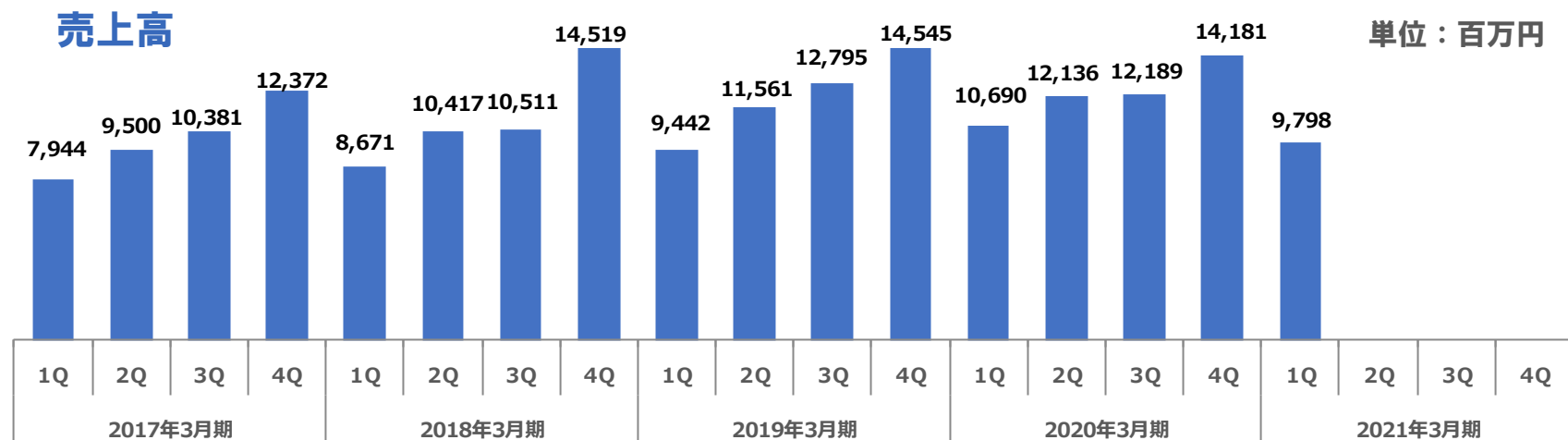
(単位：百万円)

連 結 損 益	2020/3期 1Q (実績)	2021/3期 1Q (実績)	前年同期比
売 上 高	10,690	9,798	△8.3%
売 上 原 価	6,077	5,486	△9.7%
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費	4,533	4,096	△9.6%
营 業 利 益	79	216	173.4%
経常利益（損失）	△ 22	277	—
税 引 き 前 利 益 （ 損 失 ）	△ 34	277	—
親会社株主に帰属する 四半期純利益（損失）	△ 211	83	—
1 株 当 た り 四 半 期 純 利 益 （ 円 ）	△ 10.32	4.04	—

四半期別売上高および営業利益の推移



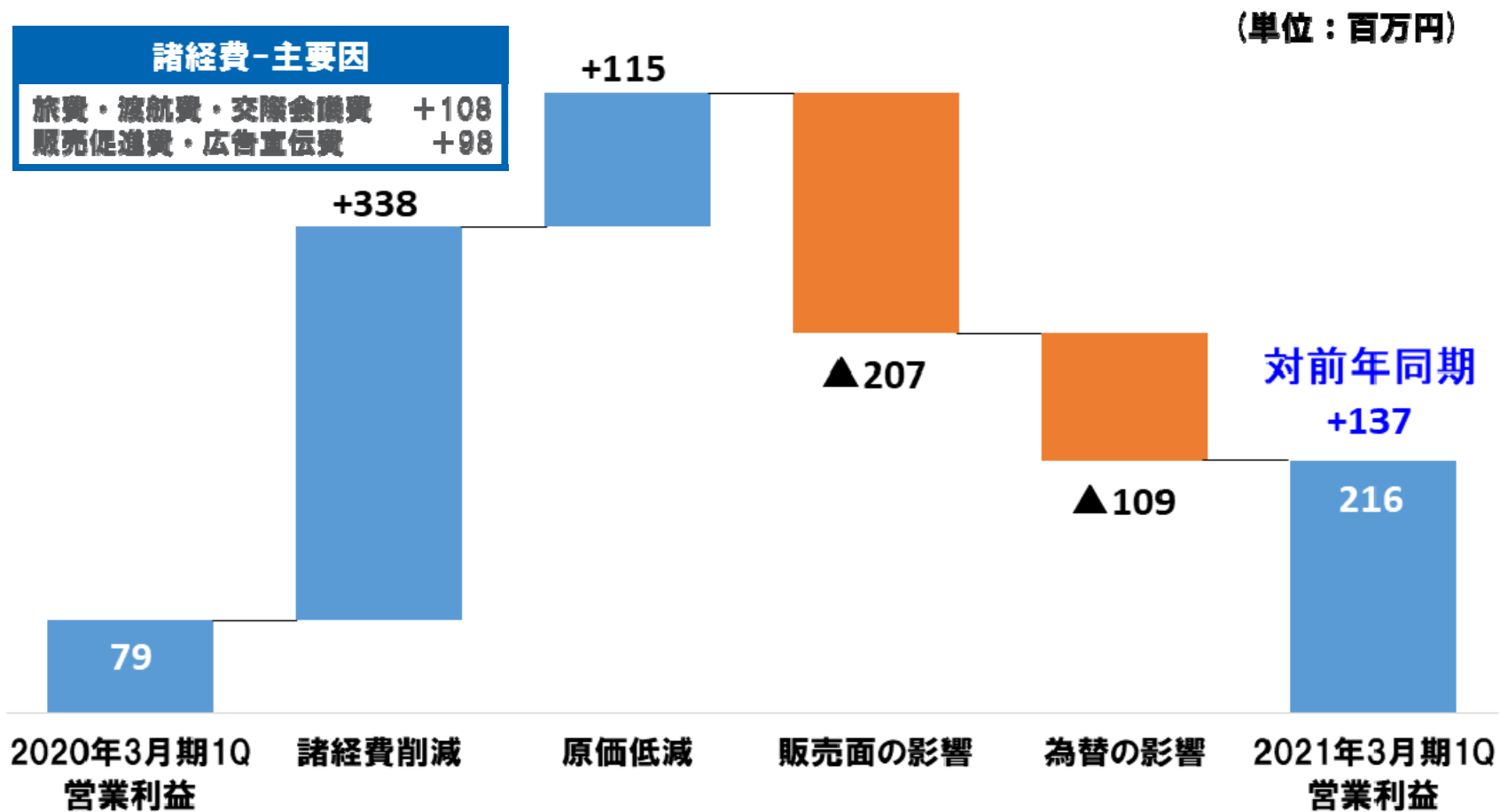
売上高は減少もコスト改善・販管費削減により営業利益は増加



営業利益増減要因（前年同期比）



売上高は減少するも販管費の減少により営業利益は増加

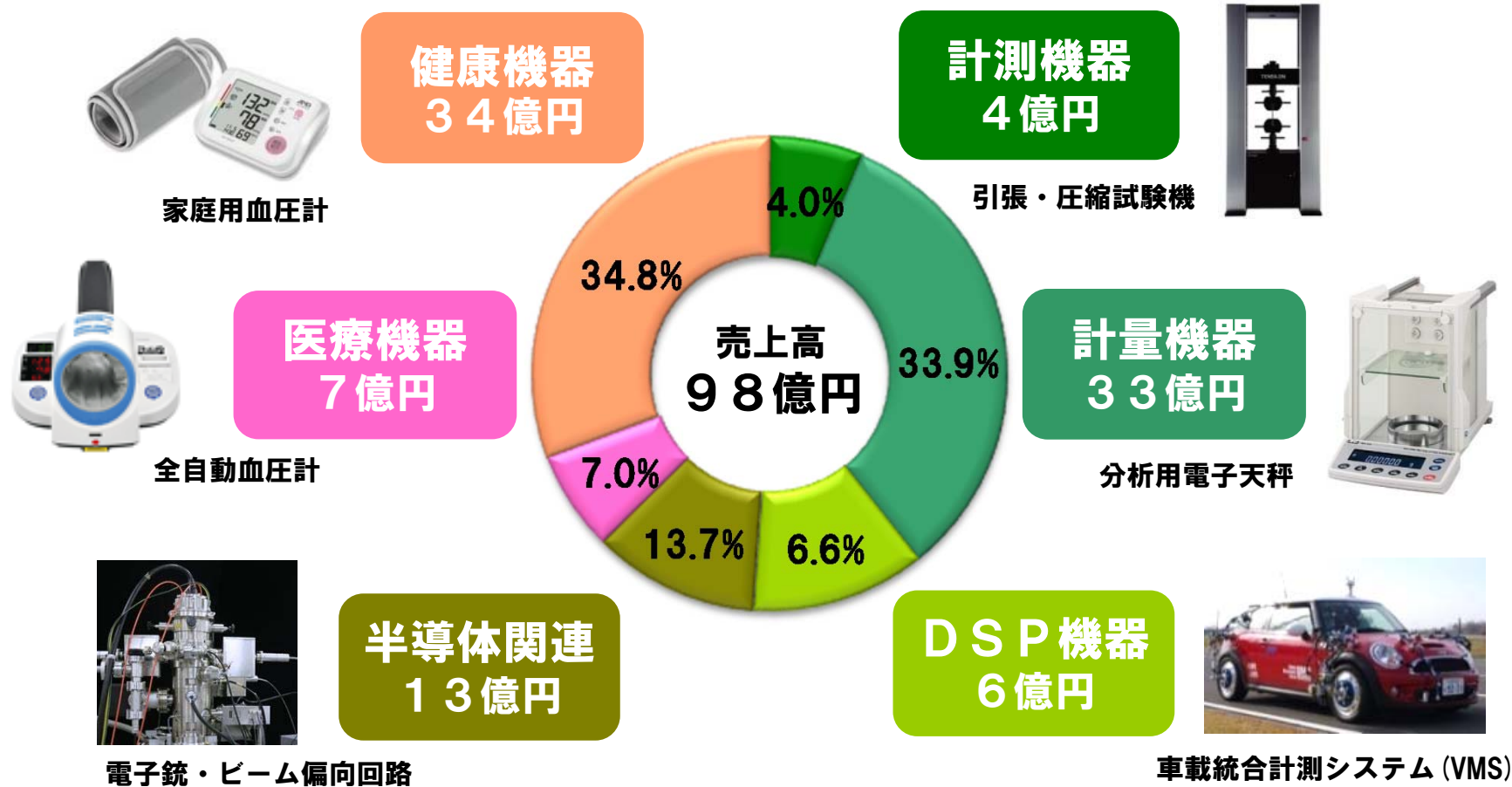


2021年3月期第1四半期事業別売上実績



医療・健康機器事業

計測・計量機器事業



※DSP：計測・制御・シミュレーションシステム

セグメント別業績の概要



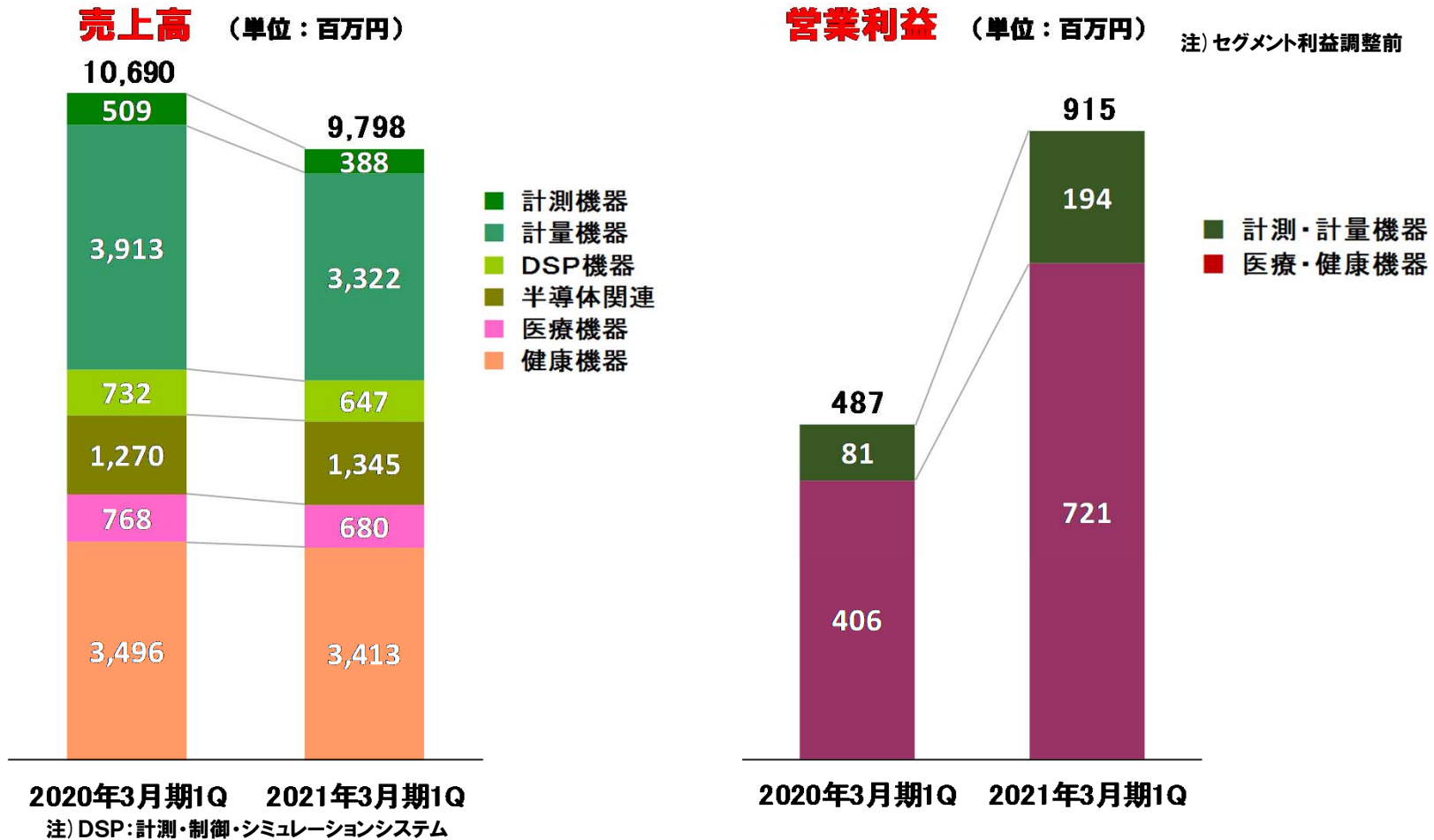
(単位：百万円)

連 結 損 益	2020/3期 1Q (実績)	2021/3期 1Q (実績)	前年同期比
売 上 高	10,690	9,798	△8.3%
計測・計量機器	6,425	5,704	△11.2%
医療・健康機器	4,264	4,094	△4.0%
売 上 原 価	6,077	5,486	△9.7%
計測・計量機器	3,707	3,117	△15.9%
医療・健康機器	2,306	2,066	△10.4%
販 管 費	4,533	4,096	△9.6%
計測・計量機器	2,636	2,392	△9.3%
医療・健康機器	1,550	1,305	△15.8%
営 業 利 益	79	216	173.4%
計測・計量機器	81	194	138.5%
医療・健康機器	406	721	77.3%
全 社 / 消 去	△409	△699	—

事業別実績



減収減益も健康機器が売上維持、医療・健康機器事業が営業利益を牽引



事業別動向



計測・計量機器	計測機器	各国の政策に基づく行動制限・経済活動制限とこれに伴う稼働率低下による需要減及び設備投資の抑制あるいは延期の影響を受け売上減
	計量機器	
	DSP機器	
	半導体関連	ホロンの業績を背景に売上を伸長

医療・健康機器	医療機器	医療機関等による設備投資の中止あるいは延期の影響から売上は若干減少
	健康機器	一時期経済活動を制限されたロシアでは売上減 一方で、日本における健康意識の高まり・米国大口案件の継続・米州と欧州でのeコマースルートの売上増等により売上は微減に留まる

両事業共に経費削減に努め営業利益は対前年同期比大幅増

2. 2021年3月期業績予想

2021年3月期業績予想の前提



新型コロナウイルス感染症拡大は長期化、市場環境の不透明感は継続するものと想定

■ 計測・計量機器事業

- 計量機器・DSP機器は設備投資需要の冷え込みによる導入計画の先送りあるいは中止、加えて営業活動及び納入に伴う設置据付への制約等もあり特に国内での苦戦を想定
- 半導体関連は(株)ホロンとのシナジー効果を引出し業績拡大を目指す

■ 医療・健康機器事業

- 医療用血圧計及び計量器は医療現場の状況から設備導入需要は減退が継続するものと想定
- 家庭向け健康機器は家庭でのコロナ対策として家庭向け血圧計及び非接触型体温計を中心に堅調な推移を想定

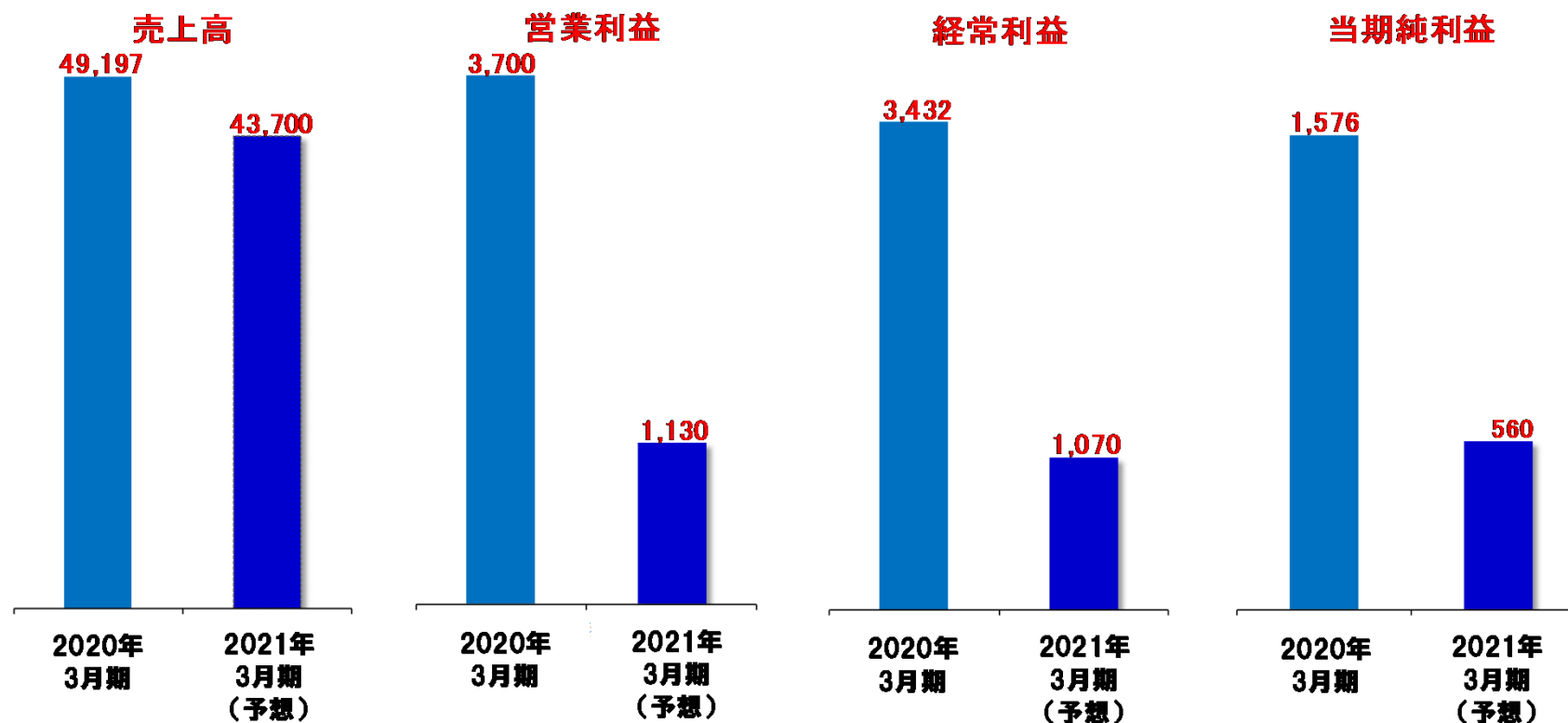
eコマースルートの強化、Webinar開催・バーチャルラボ設置・リモートでの設置等新たな需要と要求への対応及び経費削減と売上総利益率改善活動を継続

2021年3月期業績予想①



市場環境の不透明感は継続と想定し売上高、各段階利益とも減少予想

(単位：百万円)



2021年3月期業績予想②



(単位：百万円)

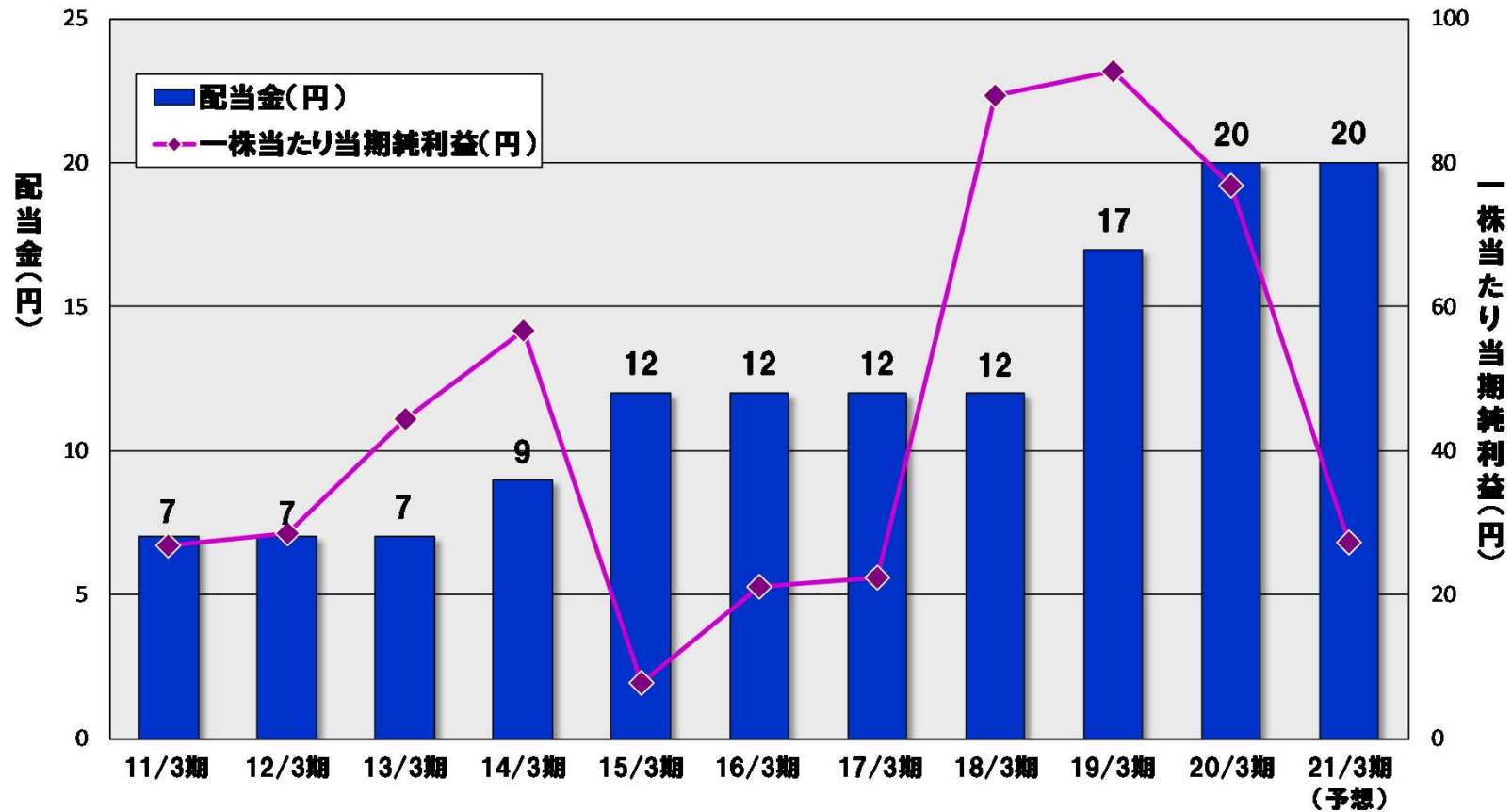
連 結 損 益	2020/3期 (実績)	2021/3期 (予想)	前期比
売 上 高	49,197	43,700	△11.2%
売 上 原 価	27,411	25,170	△8.2%
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費	18,085	17,400	△3.8%
営 業 利 益	3,700	1,130	△69.5%
経 常 利 益	3,432	1,070	△68.8%
税 引 き 前 利 益	3,423	1,070	△68.7%
親会社株主に帰属する 当 期 純 利 益	1,576	560	△64.5%
1 株 当 た り 利 益 (円)	76.88	27.15	△64.7%

想定為替レート：1ドル=108円、1ルーブル=1.5円

株主還元



2021年3月期の年間配当は2020年3月期と同額の20円を予想

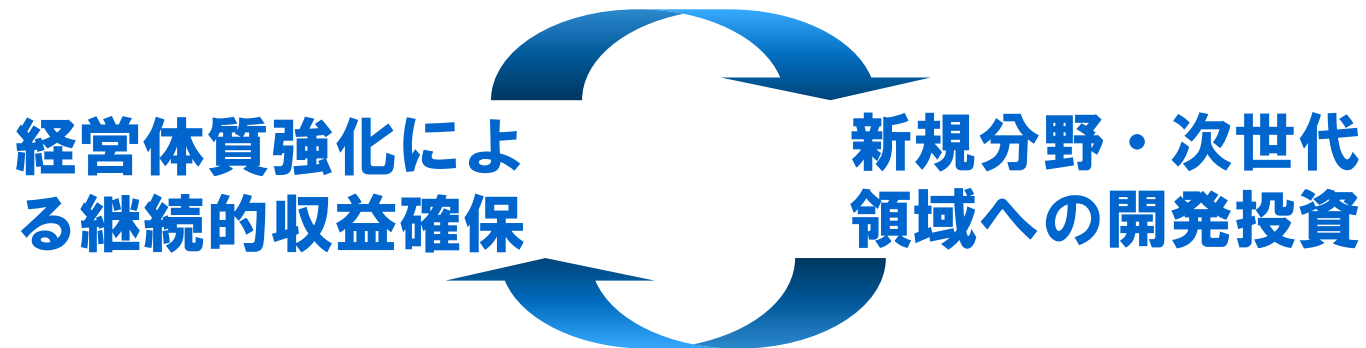


3. 2021年3月期重点課題

アフターコロナに向けて



社会的価値観と産業構造の変化を好機と捉え経営体質を強化



- 新しい日常から生じる需要の確実な取込
- グループ間シナジーの追求による総合力強化
- 更なる業務効率と生産性向上によるコスト改善の推進
- 健康経営への継続的取組

AND
Discover Precision

ご注意

本資料に含まれる予想に関する記載は、現時点における情報に基づき判断したものであり、今後、日本及び世界の経済動向、新たな技術開発の進展により変動することがあります。従って、当社としては、その正確性を保証するものではありません。